

林 重雄<sup>1</sup>：福井県高浜町にオオミカンラン果実の漂着Shigeo HAYASHI<sup>1</sup> : Fruit of *Canarium mehenbethune* Gaertner stranded on the beach of Takahama, Fukui Prefecture, Japan

オオミカンラン *Canarium mehenbethune* Gaertner は、カンラン科 (Burseraceae)、カナリウム属に属する。カナリウム属の植物は約100種類もあり、東南アジアや太平洋諸島にも多くの種が分布している (中西 2016)。これまでオオミカンランの漂着は八重山諸島の石垣島で確認されているが (中西 2011)、本州での漂着記録は無い。

福井県の若狭地方には沈降性のリアス式海岸が発達しているが、高浜和田の海岸は約 4 km の白砂青松の遠浅の海で海水浴場が点在している (吉川 1968)。今回福井県高浜町で、オオミカンランの漂着を確認したのでここに報告する。

## 漂着記録

筆者は2021年2月13日、福井県高浜町和田海岸で (図1)、漂着物の調査中に高潮線に沿った漂着物が密集した場所でオオミカンランの果実の漂着を確認した。

発見時 (13時) の天候は晴れ、最寄りの美浜のデータによれば気温17.6°C、東南東の風、風速1.4m/sであった。(気象庁ホームページ)。

漂着していたオオミカンランの果実は内果皮で、表面は平滑、淡灰黄褐色で、長さが53.3mm、直径が40mm、質量26.2gであった (図2)。内果皮は先端の尖った卵型で、頂部は三稜が目立ち、三菱状に細長い3つの小さな穴が開いている。底部には中央から3方向に分岐した凹みがある。(中西 2011) の Fig.1-4、と Gunn and Dennis (1976) Fig.26によって本種と同定した。

随伴して見られた漂着物には、大量のプラスチックごみの他に乾燥したハリセンボン、イシガキフグ、アオイガイ片などであった。こうした状況から、オオミカンランなどの漂着物は発見した日より前、北よりの平均風速4 m/s ほどが続いた2月7~9日 (気象庁ホームページ) あたりに漂着したものと推測できる。

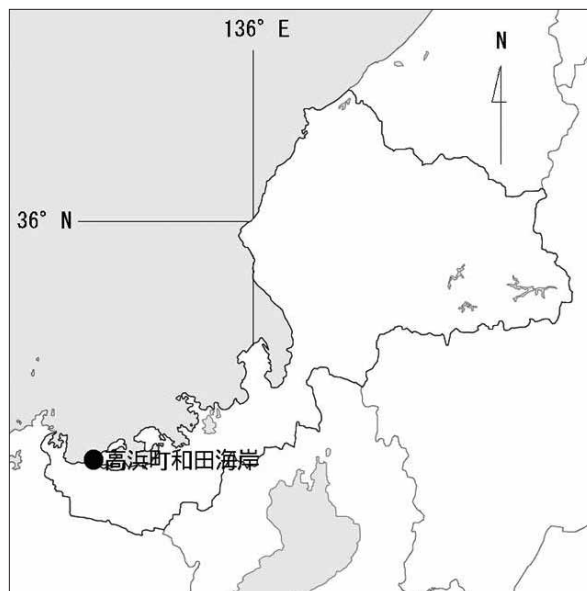


図1 福井県高浜町和田海岸の位置



図2 福井県高浜町和田海岸に漂着したオオミカンラン 左から頂部・側面・底部

## 引用文献

Gunn, C. R. and Dennis, J. V. 1976. World guide to tropical drift seeds and fruits. 240pp. The New York Times Book Co, New York. 気象庁ホームページ. (<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>)

(2021年4月10日閲覧)

中西 弘樹. 1999. 漂着物学入門. 211pp. 平凡社, 東京.

中西 弘樹. 2011. 日本における熱帯起源の漂着果実と種子の稀な種. 漂着物学会誌 9: 1-5

中西弘樹・坂巻幸子. 2016. 与那国島 (沖縄県) への熱帯起源の稀な果実と種子の漂着記録. 漂着物学会誌 14: 5-9

吉川文次. 1968. 日本地名大事典4 中部. 556pp. 朝倉書店, 東京.

(Received May 10, 2021; accepted June 18, 2021)

<sup>1</sup>〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町3-155

<sup>1</sup>3-155 Toriimatsu-cho, Kasugai City, Aichi 486-0844 Japan